

Duke 大学医学部腎臓内科ポスドク（博士研究員）募集

Duke 大学腎臓内科相馬研究室は現在 4 年目を迎え、NIH R01 グラント（2020 年 9 月より 5 年間）で研究をご支援いただいております。現在私達の研究にポスドクとして参加していただける方を募集しています。私たちの研究室では、シングルセルシーケンス解析とマウス遺伝学を駆使して、腎臓の組織障害修復機序の解明を目標に日々研究しております。腎臓尿細管細胞の可塑性（Plasticity）を制御する機序を新規に同定しており（現在投稿中）、様々な遺伝子改変マウスを組み合わせる腎臓修復再生の分子基盤の同定を目指しています。また、組織マクロファージや骨髄由来マクロファージの腎臓内での動態制御機序の検討も行なっております（Ide ら、eLife 2020, Yahara ら、Nat Cell Biol 2020）。

Duke 大学の素晴らしい共同研究者と密接に研究をしており、遺伝子改変動物に基づくしっかりした表現型にめぐまれており、シングルセルシーケンスの解析を身に付けたい方、少量細胞での *in vivo* クロマチン解析、ChIP シーケンス解析、ドキシサイクリン誘導性やタモキシフェン誘導性コンディショナルマウスを駆使した実験で、組織修復再生機構を検討したい方を探しております。相馬が R を使ったシングルセル解析のプログラミングやマウス遺伝学の基本から応用まで丁寧に指導いたします。熱意があり、最先端の技術を用いてサイエンスを楽しみ、様々なことにチャレンジしたいと思っておられる方を求めています。ぜひご興味がある方は履歴書を相馬友和（tomokazu.souma@duke.edu）までお送りください。着任時期は 2021 年春ごろを考えていますが相談に応じられます。

Lab web page: <https://medicine.duke.edu/divisions/nephrology/research/institutes-and-labs/souma-lab>

施設：Duke 大学は、ノースカロライナ州ダーラムに位置しており、全米トップ 10 の常連の研究大学です。優秀な科学者が集まり、研究設備や学内共同研究も盛んで基礎研究、translational な研究を行う上で最適な環境の一つです。研究留学をする上では、生活面、金銭面のご心配もあるかと思いますが、シカゴ、ボストン、カリフォルニアなどの大都市に比べて生活費が安価で、治安も良く、穏やかな方が多い土地柄です。とくにご家族とともにご留学を考えておられる方には素晴らしい環境と言えます。Duke 大学の医療保険はとくに素晴らしく、日本の保険制度とほぼ変わらない金額で高度な診療を受けられます。その点も安心してご留学先として選んでいただけたらと思います。

条件：熱意があり、基本的な実験操作を大学院で学ばれている方を希望しています。

待遇給与：NIH R01 による雇用になりますので NIH の規定に基づきます。また、キャリアアップの助けになりますので、ご希望に応じて日本のフェローシップ、アメリカ心臓協会（AHA）のフェローシップの獲得を支援します（これまでに、相馬ラボより上原、海外学振、AHA、アステラスなどの採択実績があります。）

応募書類：履歴書をまずは日本語で構いませんので相馬まで Email で送っていただけたらと思います。

送付先：tomokazu.souma@duke.edu

Tomokazu Souma, MD, PhD

Assistant Professor, Duke Nephrology

Affiliate of the Regeneration Next